



和田っ子通信

令和7年度 No. 2
福井市和田小学校だより
発行日 令和6年 5月27日(火)
〒918-8238 福井市和田 1-2-1
TEL:22-8817 FAX:22-6121

5月18日 春季体育大会

5月18日(日)に和田地区民体育祭及び本校の春季体育大会が無事に終わりました。子どもたちを万全の体調で送り出してくださった保護者の皆様、準備から運営まで会を支えてくださいました地域の方々に深く感謝申し上げます。前日の雨とはうって変わって、当日は晴天に恵まれました。和田っ子や和田地区住民の皆さんの熱い想いが空に届き、天気をも変えてしまったのだと思っています。



友達や地域の人に対して心から応援したことなど、和田っ子のよさを改めて実感しました。また、競技の中には、地域の方とふれあう場面もあり、顔見知りが増えてお付き合いの輪が広がりました。これは、地域で安全に生活するためにも非常に大切なことです。体育祭を裏で支えたり盛り上げたりしてくださった方、PTAバザーを運営した保護者の皆さん、会を安全にスムーズに進行した地区のスタッフの方々、音楽で盛り上げてくれた中学生……。和田っ子の頑張りの裏側には多くの人の頑張りがあったのだということにも感謝しなければなりません。これを機に、日常生活の中でも、子どもたちが安全で楽しい毎日を送っていくために多くの人の力があるのだということを折に触れて伝えていきます。ありがとうございました。

※ 体育大会の様子が翌日の福井新聞で紹介されました。

5月20日 ホームデー発表会



5月20日(火)の全校朝礼の時間にホームデーで取り組んでいることを発表する会を開きました。ホームデーは、自分で考えて行動する日です。希望者を募ったところ40名近くの応募がありました。実演あり、タブレットで作成したプレゼンありで各学年とも思いの表現方法で発表を行いました。どの子も自信たっぷりで、自分のことを表現したい!知ってもらいたい!という意欲が伝わってきました。今後も、主体的に考え、失敗を恐れずに粘り強く取り組んでいってほしいと願います。子どもたちからは、次は自分もチャレンジしたい!という声が多く寄せられました。秋には、第2回を行う予定です。(福井新聞の取材を受け、掲載されます。)



縄跳び



クワガタの世話



曲当てクイズ

発表内容・・・勉強したこと、空手、虫を育てること、料理、石、手紙、合奏とクイズ、キャッチボール、ダンス、運動、縄跳び、工作、輪かざり、バスケットボール、ゲームを創るなど

思った以上に多岐に渡った発表でした。和田っ子は、「表現する」ことに課題がありますが、今後も自信をもって伝える場をつくっていきたいと考えます。ぜひ、お子様からその時の話を聞いてください。

今年度の和田小学校スクールプランを策定しました。スクールプランとは、学校を運営していくための全体構想です。学校運営の改善・教育活動の質の向上・地域との連携強化等をめざして作成します。学校の現状や課題を踏まえながら、1年ごとに改定していきます。

令和7年度 和田小学校 スクールプラン



令和7年度 福井市和田小学校スクールプラン

【福井市学校教育目標・方針】

- 郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成
- 学びをつなぐ・未来につなげる「つながる」を大切にした学校

【福井中学校区教育目標】

主体的に行動し、共に学びをつなぐ児童・生徒の育成

◆学校教育目標◆ 未来を拓き、たくましく生きる子の育成

【教職員の願い】

- 失敗してもあきらめないでほしい
- 自分の考えをもってほしい
- 主体的に行動してほしい
- 違いを受け入れ、折り合いをつけるようになるしてほしい
- 思いを伝えられる子になってほしい

【児童の実態】

- 明るく素直
- 言われたことに真面目に取り組む
- 新たに挑戦する力が弱い
- 自分の考えを他者に伝える力が弱い

【保護者や地域の願い】

- 心身の成長
- 安心して学べる居場所
- 笑顔で活気あふれる学校
- 仲間と関わり合っている
- 考えることを楽しんでいる

子どもたちの



幸せのために

【研究主題】主体的に学び合うコミュニティを育てる～「問い」と「振り返り」の工夫～

A わかる授業づくり

◎ 学びのおもしろさを実感し、主体的に考える場を設定する

- ① 「問い」と「振り返り」の工夫をする
 - ② 一人一人の考えを表現する場の工夫をする
 - ③ ICT を授業に効果的に取り入れる
 - ④ 学習ルールの定着や学年に応じた家庭学習の工夫をする（パワーノートの工夫）
 - ⑤ 読書活動を推進する
- ◆ 授業がよくわかり楽しい（見 95%）
 - ◆ 考えを説明したり文章に書いたりしている（見 95%）
 - ◆ ICT 機器を授業で毎日利用している（概 100%）
 - ◆ 図書室（図書）の学習利用（年間 10 回以上）

B 居場所づくり・絆づくり

◎ 一体感のある学校・学級づくりと安全・安心を支える体制作りを行う

- ① みんなでやると楽しいと感じる活動や学年集団のつながりを工夫する
 - ② 違いを認め合う人権教育を推進する
 - ③ いじめ・不登校の未然防止や初期対応に心がける
 - ④ 特別支援・教育相談のチーム対応（SC・各種支援員・関係機関の有効活用と情報共有）を行う
 - ⑤ 自己安全能力を育む安全教育を行う
- ◆ みんなと何かをやるのが楽しい（見 95%）
 - ◆ いじめを見たら止めたり知らせたりできる（見 95%）
 - ◆ 子どものことで気軽に相談できる（保 95%）

【つきたい力】

- 主体的に考え、協働する力
- 失敗を恐れず
- 粘り強く取り組む力
- 自他を受け入れる力

C 家庭・地域との連携

◎ パートナリシップで進める子どもの育成と生涯教育の視点を生かした取組を行う

- ① 各学年で地域人材や素材を生かした活動を設定する
 - ② 地域や家庭と連携して「ホームデー」を実施する
 - ③ 園小接続・小中連携を生かした交流活動を行う（スタートカリキュラムの整備）
 - ④ 規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・スマートルール）を確立する
- ◆ 地域や郷土福井を大切にしている（概 90%）
 - ◆ ホームデーは自分のためになっている（見 90%）
 - ◆ 食育や健康な体づくり（保 95%）

D チーム和田をめざして

めざす教職員像

- ① 心理的安全性の高いチームをつくる
 - ② 学び合う教師集団をめざした組織づくりを行う
- ##### 業務改善の取組
- ③ 会議は 1 時間以内（+30 分）に終了する
 - ④ 業務の DX 化と共有化を図る
 - ⑤ ワークライフバランスの向上（早出遅出の活用、休暇の取得方法等）をめざす
- ◆ 何でも相談でき、明るく働きやすい職場（概 90%）
 - ◆ 学ぶことは自分のためになり、楽しい（概 80%）
 - ◆ 業務を効率化するように心掛けている（概 80%）